

個人記載例③(6次産業化、地産地消)



「ディスカバー農山漁村の宝」応募用紙（個人用）

都道府県名（必須）	〇〇県	市町村名（必須）	〇〇市
------------------	-----	-----------------	-----

氏名（必須）	〇〇〇
---------------	-----

1. キャッチフレーズ（必須）

〇〇を使った持続可能な生活を

2. 活動のきっかけ（必須）

〇〇〇大震災で流通が止まり、当時暮らしていた〇〇〇でも様々な生活必需品が消え、それまでの当たり前であった生活が出来ない状況になった。「農産物を作る生活」「作り出せる生活」の必要を感じ、作れる土地(〇〇県)に移住。農業の知識も農地もなかったため、〇〇で農業を学び、農地を借りて夫婦で農業をスタートさせた。

3. 取組概要（必須）

農業・食品加工・販売、3本柱の小さな6次産業。子育て環境の充実として学童保育を立ち上げ運営。

4. 取組の具体的内容及び成果（効果）（必須）

① 付加価値のある農業

自らは環境保全型農業で農産物作り。地元農家さん〇軒に付加価値のあるお米作りを依頼して儲かるお米作りを実施している。ブランド米を3種類作りました。(〇〇・〇〇・〇〇)

② 食品加工

お米の消費拡大を一つのテーマにして、〇〇、〇〇、〇〇など、お米の可能性を模索して安心・美味しい食品加工に取り組んでいます。地産地消にも積極的に取り組んでいます。

③ 販売

全国の消費者さんにネット販売している。〇〇、〇〇、〇〇などを全国発送し、現在は全国で約〇〇世帯が登録している。週に1回〇〇専門の店舗を営業、店名「〇〇」。人気の「〇〇」は1日に〇〇個以上が午前中に完売する人気店へ成長した。直売所的に野菜や町の特産品も販売している。過疎が進行する町ですが営業日には行列ができる賑わいがある。他県からの来店もあり、パートさん〇名を雇用した。

④ 子育て環境

学童を立ち上げ運営し、様々な体験教室を開催した。首都圏から子ども達を呼び休校中の学校で合宿を〇回実施した。

⑤ 販路拡大・地域活性化

米を活用した加工品開発や直売店舗の運営を通じて、地域の農産物や特産品の販路拡大を推進している。全国〇店舗との継続的な取引をしており、〇〇の販売単価が平均〇%向上した。また、営業日には地域内外から多くの来訪者が訪れ、地域最大の〇〇イベントには年間〇人が参加し、交流人口の創出や地域経済の活性化につながっている。

⑥ 視察受入

環境保全型農業によるブランド化や6次産業化、地域農家との連携による〇〇農業の取組について、全国の生産者、自治体、教育機関等からの視察を受け入れている。視察では、ブランド米の生産・販売手法、加工品開発、直売店舗運営、子ども向け農業体験の企画運営等について紹介し、地域資源を活用した農村ビジネスモデルの普及に取り組んでいる。年間〇件、延べ〇人以上を受け入れており、視察後にブランド化や加工品開発に取り組む事例が生まれている。

個人記載例③(6次産業化、地産地消)

⑦ 情報発信

環境保全型農業やブランド米づくり、加工品開発、農村での子育て環境づくり等について、HPやSNS、イベント等を通じて継続的に情報発信を行っている。商品の背景にある栽培方法や地域の魅力、生産者の想いを積極的に発信することで、全国の消費者とのつながりを構築し、登録会員は約〇世帯まで拡大した。また、店舗利用者や農村体験参加者による口コミやSNS投稿により、地域の認知度向上や来訪者の増加につながっている。

5. 活動実績 (必須)

項目	単位	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度 (見込み)
年間売り上げ	千円	7000	7500	9000	9500	9800	10000
	解説: 事業全体の売り上げ(〇〇・〇〇・〇〇)。農産物の加工品販売が増えています。						
〇〇販売売上	千円	300	1000	3000	4000	4500	5000
	解説: 〇年〇月末に〇〇専門の店舗を開店、週に〇回の店舗営業						
米生産量	kg	6000	6300	6700	7100	7500	8000
	解説: 取り扱いブランド米: 〇〇・〇〇・〇〇						

6. 活動の主な変遷 (必須)

初年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度 (見込み)
平成〇年〇月 〇〇県に移住	〇賞 優秀賞 受賞	空き家を有効 利用・〇〇専 門店舗開店	休校を利用 し、首都圏学 生の合宿を行 う。	〇〇専門店舗 の1日平均売 上が〇万円に	新型コロナウ イルス感染 症に対応し た「〇〇」提 供開始	

7. 今後の展開 (必須)

- ① 数年後に〇反の農地を入手予定なので、〇〇や〇〇の無農薬栽培を予定。少々見た目が悪くても付加価値作物としての需要がある。
- ② 米飯食だけではお米の消費は増えず、それでも稲作は守っていくべきと考えるので、〇〇等人気のあるものに加工し、これらをのれん分けしていけるようセントラルキッチンを考案中。
- ③ 子供達が「無いなら作る」と考えられるよう、作る楽しみ、魅力を伝えていきたい。

8. あなたとあなたが活動する地域の関係団体や関係者との協力・連携の状況について (必須)

・お米生産者さんはお米を作っても儲からないと嘆いていた。付加価値のあるお米作りを依頼して儲かるお米作りが実現出来るようになり、耕作面積も増えた。

・休校中の小学校に過去〇回、首都圏の子ども達を呼び合宿交流を行った。団塊の世代、婦人会、商工会、町民の皆さんに協力頂き都会の子ども達と町民の交流BBQも実現出来て、今では毎年休校中の学校でイベントや川遊びが行われるよう変化した。地元の方から休校中の学校から「子ども達の声が聞こえる」と喜ばれた。

・学童を立ち上げ、休園中の幼稚園を利用。支援員さん数人も町内の団塊の世代の方々が意欲的に勤務。子どもたちが様々な事を体験できるよう、町内や市内で活動している人に声をかけ講師として招く。

これまで、市と県から委員任命され、移住者の立場から様々な提案をさせて頂きました。今後も〇〇市の中小企業意見交換会が予定している

9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表 (必須)

個人記載例③(6次産業化、地産地消)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>
()	()
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>
()	()
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>
()	()

10. 表彰等の受賞歴 (該当あれば)

表彰名等(受賞年度)	主催者
〇〇賞(平成〇年)優秀賞受賞	〇〇新聞
〇〇大賞(令和〇年)特別賞受賞	(一社)〇〇

11. 活動に関するPR・エピソード (自由記入、写真等添付可)

個人記載例③(6次産業化、地産地消)

〇〇県に移住をしたら、田舎には宝のようなものが沢山あり、これらを掘り起こして全国に発信しなくてはと思い見回すと、地域には沢山の魅力的な農産物があった。

この農産物を求めている人達が全国にいる。作っている農家さん達は利益のある売り先を求めている。自分達はその橋渡しを行い、都会と地方の共存共栄が必要だとの思いから事業を立ち上げた。

余ってしまうもの、お米の需要拡大をテーマに小麦粉加工品にお米を積極的に利用した商品を開発し、お米を使った「〇〇」は開店直後には完売になるほどの大人気になっている。赤ちゃんもアレルギーがある人も食べられるよう、ブランド米を使った〇〇の全国配送も好評。

過疎化の進行している町ですが、子ども達には地域の魅力を体験してもらい、一度外に出たのち「この町で子育てをしたい」と思える活動、子育てから魅力ある町作りまでを積極的に取り組んでいくことが目標。地域の沢山の方々と協力して活動に取り組んでいる。

12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。

情報を希望する